



命をつなげ 救急救命

「救急入電中！救急入電中！119番通報を受け、消防署内にアナウンスが流れると、それまで和やかな雰囲気だった署内が一気に緊張に包まれる。救急隊員3人の出動準備が整うと、白い車体の高規格救急車がサイレンを響かせながら出場していく――」

急な病に襲われたり、不慮の事故に遭遇した時、119番通報をすると現場に駆け付け、冷静かつ的確な判断で行動してくれる救急隊員はとても頼りになる存在です。

しかし、救急車が到着するまでの平均時間は約8分です。もしも目の前で、大切な人が急に倒れてしまったら：救急車が到着するまでの時間、私たちには何ができるでしょうか。

救急出動の現状

中野消防署および豊田消防署の救急出動件数は、平成22年が1545件、平成23年が1677件、平成24年が1679件と、年々増加傾向にあります。

平成24年中に搬送された方の事故種別の状況は、急病が1067人（全体の67%）で最も多く、次いで一般負傷が230人（同14%）、交通事故

が153人（同10%）の順となっています。年齢区分搬送人員では、全体の65%が65歳以上の方です。

中野消防署には、救急処置ができる機材および装置などを搭載した高規格救急車が1台、傷病者2人を搬送可能な2B型救急車1台の計2台、豊田消防署には高規格救急車1台が配備されていますが、救急出動件数の増加は、真に緊急を要する方への対応が遅れ、救命率に影響が出る恐れがあります。救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救急救命士とは

救急車に乗車する3人の救急隊員のうち、灰色の服を着た隊員は、救急救命士法に基づく国家資格を有した救急救命士です。

救急救命士は、病院への搬送中に限り、医師の指示のもと、傷病者に対して、器具を使用した気道確保・除細動・静脈路確保（点滴）などの高度な応急処置を行うことができます。特別な隊員です。

岳南広域消防本部には、21人の救急救命士がおり、中野消防署に9人、豊田消防署に3人、山ノ内消防署に9人が配属されています。



岳南広域消防本部中野消防署に勤務する救急救命士。使命感と責任感を持ち合せたとても頼りになる皆さんです。



尊い命を守るため
私たちにもできることが
あります。
あなたの勇気ある行動が
尊い命をつなぎます。



1:病院に到着するまでの間、車内では救命士による的確な応急処置が行われる(写真は実演)／2:救急救命技術向上のため、定期的に救命訓練を行う／3:市民の皆さんや団体などを対象に救命講習会を開催している

救急車の呼び方

119番通報をすると、指令員が救急車の出動に必要なことを、順番に伺います。
慌てず、ゆっくりと教えてください。

1 救急であることを伝える

119番通報したら、まず「救急です」と伝えてください。



3 症状を伝える

誰が、どのようにして、どうなったと簡潔に伝えてください。また、分かる範囲で意識、呼吸の有無などを伝えてください。



2 場所を伝える

住所を伝えてください。住所がわからない場合は、近くの建物、交差点など目印になるものを伝えてください。



4 名前と連絡先を伝える

あなたの名前と連絡可能な電話番号を伝えてください。

